

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高次脳機能障害学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	603
担 当 教 員	高栴 有里	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として総合病院勤務経験あり。急性期リハに従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
高次脳機能障害の中でも行為・動作の障害について解説をします。実習に向けての基礎的知識と症状の観察ポイント、リハビリテーションについて学びます。また、患者対応についても考える機会としてください。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
高次脳機能障害学第2版 医学書院						
《授業外における学習方法》						
各回、復習をして下さい。授業中に紹介する神経心理学的検査は練習をして下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ、その症状をイメージしながら、患者さんの生活の中でどんなことが困るのか、どうしたらうまく生活ができるようになるかを考えながら学習に取り組んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習を振り返りながら高次脳機能障害とは何かを復習する。	レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。	
		各コマにおける授業予定	高次脳機能障害に関する基礎知識の確認			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	失行の歴史を学び、古典分類について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。	
		各コマにおける授業予定	行為・動作の障害 失行の総論、失行の古典分類(Liepmann)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の失行の考え方について古典分類との比較をしながら説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。	
		各コマにおける授業予定	行為・動作水準の能力の障害(Liepmannから近年の失行論)①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の失行の考え方について古典分類との比較をしながら説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。	
		各コマにおける授業予定	行為・動作水準の能力の障害(Liepmannから近年の失行論)②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の失行の考え方について古典分類との比較をしながら説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。	
		各コマにおける授業予定	行為・動作水準の能力の障害(Liepmannから近年の失行論)③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	非失行性の障害について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	運動、行為・動作の機能的分類、運動水準の能力の障害—非失行性障害		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	評価方法の特長について説明できる。	教科書・レジュメ	紹介した神経心理学的検査の練習をして下さい。
		各コマにおける授業予定	行為・動作能力の評価法		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	評価方法の特長について説明できる。	教科書・レジュメ	紹介した神経心理学的検査の練習をして下さい。
		各コマにおける授業予定	行為・動作能力の評価法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の行為の障害、原始反射について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	各動作の統制の障害、その他の行為・動作の障害(非失行性の障害)—原始反射		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の行為の障害、原始反射について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	その他の行為・動作の障害(非失行性の障害)—原始反射		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷による高次脳機能障害の特長について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷による高次脳機能障害の特長について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳梁離段の症状について説明できる。	教科書・レジュメ	レジュメの復習をしてください。
		各コマにおける授業予定	脳梁離断症状		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	他職種について理解できる。		
		各コマにおける授業予定	チーム医療論(他職種理解)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		教科書・レジュメ	(予習課題)これまでに分からないところはなかったか、総復習をして臨んでください。
		各コマにおける授業予定	まとめ		